



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった												
	独自の指標①	服部台明星線事業進捗率		実績（値） 43.5%												
	独自の指標②			実績（値）												
	独自の指標③			実績（値）												
●事業の分析（評価の根拠・理由）																
<p>服部台明星線道路整備事業として令和元年度繰り越し分の用地取得、及び建物補償を行いました。 令和元年度において上牧町都市計画道路見直し検討委員会において検討した結果、廃止候補路線に選定された3路線には県道も含まれているため、県と協調してパブリックコメントを実施しました。</p>																
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																
<p>【服部台明星線事業進捗率】</p> <table border="1"> <caption>服部台明星線事業進捗率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>6.8%</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>43.5%</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>43.5%</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>73.8%</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	進捗率	H30	6.8%	R01	43.5%	R02	43.5%	R03	73.8%	R04	100.0%
年度	進捗率															
H30	6.8%															
R01	43.5%															
R02	43.5%															
R03	73.8%															
R04	100.0%															
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある												
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>服部台明星線道路整備事業の実施により、上牧交差点の渋滞緩和や主要施設へのアクセシビリティ強化と交通の円滑化が見込まれます。計画から時間が経過した未着手路線については、計画当初と比べて人口減少等社会情勢が変化し、大型商業施設の出店等で交通量が変化している等、社会情勢に合わせた道路網の整備を行っていく必要があります。</p>															
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない												
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>都市計画道路の整備について、道路幹線網における計画路線の存続及び廃止について整理を行い、廃止候補路線については、都市計画法に則って手続きを進めます。また、将来的には存続路線について道路整備をいかに進めていくか検討していく必要があります。</p>															

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 都市計画道路存続路線の内未整備路線は、全て県道となるため奈良県へ道路整備を進めていくよう要望していきます。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	服部台明星線道路整備事業として、開通に向けて本線の本格的な整備工事に取り掛かります。 都市計画道路の見直しについては、都市計画審議会を開催し、都市計画法に則り廃止候補路線3路線の廃止の手続きを進めて行きます。				
	指標（予定）	独自	服部台明星線事業進捗率		73.8%
		—			
—					



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった									
	独自の指標①		実績（値）										
	独自の指標②		実績（値）										
	独自の指標③		実績（値）										
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>緊急輸送道路に係る道路橋の耐震化について、第1次緊急輸送路である西名阪高速道路を跨ぐ道路橋（岡在橋）の耐震補強工事が完了しました。                  第2次緊急輸送道路である下牧高田線の路線内にある上牧新橋については、耐震補強工事に着手しました。（事業費ベース 進捗率43%）</p>													
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>令和3年3月時点                  緊急輸送道路に係る道路橋梁の耐震化進捗状況                  （事業費ベース）</p> <table border="1"> <tr> <td>つくも橋</td> <td>100%</td> <td>（第1次緊急輸送路を跨ぐ道路橋）</td> </tr> <tr> <td>岡在橋</td> <td>100%</td> <td>（ " " ）</td> </tr> <tr> <td>上牧新橋</td> <td>43%</td> <td>（第2次緊急輸送道路）</td> </tr> </table>					つくも橋	100%	（第1次緊急輸送路を跨ぐ道路橋）	岡在橋	100%	（ " " ）	上牧新橋	43%	（第2次緊急輸送道路）
つくも橋	100%	（第1次緊急輸送路を跨ぐ道路橋）											
岡在橋	100%	（ " " ）											
上牧新橋	43%	（第2次緊急輸送道路）											
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある									
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>経年劣化等で上牧町内道路橋梁の損傷状況や外観、高欄の劣化が進んでいる状況であり、地元からの修繕の要望も多く、計画的な整備と損傷状況に応じた柔軟な対応が必要であると考えます。                  また、緊急輸送道路に係る橋梁並びに一般道路橋梁についても、耐震化の要請があります。</p>												
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない									
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>緊急輸送道路に係る橋梁並びに一般道路橋梁についても耐震化をする必要があるが、橋梁長寿命化の観点からまず予防保全としての修繕による延命化が最善であると思われれます。                  また、維持管理の観点から橋梁の撤去や集約化についても検討する必要があります。</p>												

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）									
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 道路橋梁については、令和3・4年度に2巡目の橋梁（23橋）の法定定期点検を予定しており、点検結果における長寿命化修繕計画の見直しを行い、その計画に則り予防保全の観点から橋梁の長寿命化を図ります。 また、緊急輸送道路に係る橋梁については、令和3年度を目途に耐震補強を完了する計画です。									
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	緊急輸送道路に係る道路橋については、令和3年度を目途に耐震補強を完了する計画です。 令和4年3月予定										
		<table border="1"> <tr> <td>つくも橋</td> <td>100%</td> <td>（第1次緊急輸送路を跨ぐ道路橋）</td> </tr> <tr> <td>岡在橋</td> <td>100%</td> <td>（ " " ）</td> </tr> <tr> <td>上牧新橋</td> <td>100%</td> <td>（第2次緊急輸送道路）</td> </tr> </table>	つくも橋	100%	（第1次緊急輸送路を跨ぐ道路橋）	岡在橋	100%	（ " " ）	上牧新橋	100%	（第2次緊急輸送道路）
	つくも橋	100%	（第1次緊急輸送路を跨ぐ道路橋）								
	岡在橋	100%	（ " " ）								
	上牧新橋	100%	（第2次緊急輸送道路）								
指標（予定）	KPI	橋梁補修・耐震工事									
	—	81%									
	—										



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった												
	独自の指標①	コミュニティバスの年間利用者数（延べ人数）	実績（値）	42,699人										
	独自の指標②		実績（値）											
	独自の指標③		実績（値）											
●事業の分析（評価の根拠・理由） 令和2年4月から3台体制（ペガサス号・ささゆり号・ほほ笑み号）、新ルートによる運行を開始しました。 運転手の名札の着用を義務化しました。 新型コロナウイルスの感染防止対策の一環として、運転席と客席の間に飛沫防止用ビニールシートを設置しました。 利用者数の実績については、前年度と比較し減少しておりますが、新型コロナウイルスの感染防止対策に伴う、不要不急の外出が控えられたことが原因と考えられます。														
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。														
【コミュニティバス利用者数（人）】														
<table border="1"> <caption>コミュニティバス利用者数（人）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>48,700</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>50,541</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>49,694</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>42,699</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度及び令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により減少したと考えられます。</p>					年度	利用者数（人）	H29	48,700	H30	50,541	R01	49,694	R02	42,699
年度	利用者数（人）													
H29	48,700													
H30	50,541													
R01	49,694													
R02	42,699													
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある												
	評価の根拠及び理由 高齢者の増加に伴い、町内を移動できる手段の確保は急務です。路線バスとコミュニティバスの共存を進め、交通弱者の一助になるよう、より良い環境整備を進める必要があります。													
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない												
	評価の根拠及び理由 コミュニティバスの運行の中で、運転技術、事故後の対応等様々な課題が発生しており、次回の改訂に向けて情報収集等を行うと同時に、シルバー人材センターと協議の上、運用マニュアルの作成を検討する必要があると考えます。 また、コロナ禍にあっても引き続き運行を継続していることから、感染防止対策を十分に行う必要があると考えます。													

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） コミュニティバスの運行の中で、運転技術、事故後の対応等様々な課題が発生しており、次回の改訂に向けて情報収集等を行うと同時に、シルバー人材センターと協議の上、運用マニュアルの作成を検討する必要があると考えます。			
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	引き続き、新型コロナウイルスの感染防止対策の一環として、有効的な対策の情報収集に努め、日々の消毒を実施します。 また、運行中に生じる様々な課題に対し、改善策等を検討していきます。				
	指標（予定）	独自	コミュニティバスの年間利用者数（延べ人数）	52,000人	
		-			
		-			



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>上牧町交通網対策検討会議を開催するにあたり、課題を整理し十分な議題を準備することができなかつたため、実施できませんでした。 公共交通（民間バス）において、バス停の利便性向上に向けた取組として、ベンチ及び屋根等の設置における指針の取りまとめを行い、その指針に従いベンチを2箇所設置しました。</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>高齢化の進展に伴い、公共交通に対する依存度は高まっていくと考えられます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>上牧町交通網対策検討会議の開催に向けて、公共交通への課題やニーズを整理し、検討会議で諮問する施策について検討していく必要があります。 鉄道駅がない本町において、民間バスの運行は不可欠であります。その中で、公共交通の利便性の向上に向けた取組の一環としてバス停における環境整備をいかに形成していくかが重要な課題となってきます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 公共交通の利便性の向上や町民の移動手段に関するニーズに応えるためにどのような対策を講じるべきかについての課題の洗い出しを行い、上牧町交通網対策検討会議へ諮問していきます。
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	上牧町交通網対策検討会議の開催を目指して、他市町村の先進事例を収集し、会議設置規則の制定に向けて研究を行います。また、上牧町の公共交通問題について関係各課に検討して頂く場として内部検討会の開催を考えていきます。 公共交通（民間バス）において、バス停の利便性向上に向けた取組として、ベンチ及び屋根等の設置における指針に従いベンチを3箇所設置予定しています。	
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																																																								
	独自の指標①		実績（値）																																																																																																									
	独自の指標②		実績（値）																																																																																																									
	独自の指標③		実績（値）																																																																																																									
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>道路整備路線について、平成29年度に策定した道路長寿命化計画に加え各自治会の要望に鑑み、各自治会に修繕要望路線について意見聴取を行い決定しております。</p> <p>CBR測量設計業務                  金富梅ヶ丘線 L=290m、松里園1号線 L=364m、松里園18号線 L=240m、松里園19号線 L=173m、松里園20号線 L=185m、松里園21号線 L=202m、松里園24号線 L=84m 合計 7路線 1,538m</p> <p>道路整備工事                  片岡台5号線 L=262m、下牧高田線(7工区) L=368m、桜ヶ丘葛下川線(2工区) L=330m、片岡台23号線 L=90m、北上牧27号線 L=156m、葛城台1号線 L=271m、新町地区里道 L=262m、下牧9号線 L=190m、中筋南上牧線 L=209m、合計 9路線 L=2,138m</p> <p>橋梁補修・耐震工事                  岡在橋（2工区）、上牧新橋（耐震補強・補修工事）合計 2橋</p>																																																																																																												
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>【KPIの状況（道路舗装）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> <th>R07</th> <th>R08</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>13km</td> <td>15km</td> <td>17km</td> <td>19km</td> <td>21km</td> <td>22km</td> <td>24km</td> <td>27km</td> <td>30km</td> <td>34km</td> <td>37km</td> <td>40km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>33%</td> <td>38%</td> <td>43%</td> <td>48%</td> <td>51%</td> <td>55%</td> <td>60%</td> <td>68%</td> <td>76%</td> <td>84%</td> <td>82%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>13km</td> <td>14km</td> <td>16km</td> <td>17km</td> <td>20km</td> <td>22km</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>33%</td> <td>35%</td> <td>40%</td> <td>42%</td> <td>49%</td> <td>54%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【KPIの状況（耐震補強・耐震工事）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> <th>R07</th> <th>R08</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>17%</td> <td>31%</td> <td>37%</td> <td>42%</td> <td>56%</td> <td>73%</td> <td>81%</td> <td>92%</td> <td>92%</td> <td>92%</td> <td>96%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>17%</td> <td>31%</td> <td>37%</td> <td>46%</td> <td>67%</td> <td>73%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標値	13km	15km	17km	19km	21km	22km	24km	27km	30km	34km	37km	40km		33%	38%	43%	48%	51%	55%	60%	68%	76%	84%	82%	100%	実績値	13km	14km	16km	17km	20km	22km								33%	35%	40%	42%	49%	54%								H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標値	17%	31%	37%	42%	56%	73%	81%	92%	92%	92%	96%	100%	実績値	17%	31%	37%	46%	67%	73%						
	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08																																																																																																
目標値	13km	15km	17km	19km	21km	22km	24km	27km	30km	34km	37km	40km																																																																																																
	33%	38%	43%	48%	51%	55%	60%	68%	76%	84%	82%	100%																																																																																																
実績値	13km	14km	16km	17km	20km	22km																																																																																																						
	33%	35%	40%	42%	49%	54%																																																																																																						
	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08																																																																																																
目標値	17%	31%	37%	42%	56%	73%	81%	92%	92%	92%	96%	100%																																																																																																
実績値	17%	31%	37%	46%	67%	73%																																																																																																						
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																																																								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>経年劣化等で上牧町内道路路面の損傷状況や走行性の悪化が進んでいる状況であり、地元からの修繕の要望も多く、計画的な整備と損傷状況に応じた柔軟な対応が必要であると考えます。</p>																																																																																																											
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																																																																								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>車道整備について、令和2年度末現在のKPIは22kmであり目標通りであるが、今後は年3.5kmの修繕が必要となる。過年度の修繕路線及び工法は、主要路線（幅員が広い）及び打ち換え工法による修繕が多く見受けられていたため、修繕延長が伸びていません。今後は、修繕断面が簡易な工法（切削オーバーレイ）に変わりつつあるため、修繕延長が伸びる方向となる見込みであります。歩道整備について、令和2年度末現在いまだ手つかずの状態であり、今後は歩道修繕事業についても検討していく必要があると思われます。</p>																																																																																																											

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）									
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 道路整備については、舗装の長寿命化を図るため、個別設計計画並びに自治会要望を勘案し、道路環境並びに道路網の整備を進めていきます。 歩道整備事業について、現在、車道部分の整備を主として工事を実施していますが、今後は歩道整備についても計画を立て順次、実施していく必要があります。 道路橋梁については、令和3・4年度に2巡目の橋梁の法定定期点検を予定しており、点検結果における長寿命化修繕計画の見直しを行い、その計画に則り予防保全の観点から橋梁の長寿命化を図ります。 自転車道の整備について、他市町村の動向に鑑みるとともに、県管理課との調整並びに警察との協議を行い、実施の有無並びに規模等について勘案していきます。									
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	道路整備 CBR調査 6路線 L=2.5km 整備工事 8路線 L=2.4km 橋梁補修・耐震工事 上牧新橋の橋梁補修・耐震工事（2工区） 高来橋の修繕工事										
	指標（予定）	<table border="1"> <tr> <td>KPI</td> <td>道路舗装</td> <td>24km</td> </tr> <tr> <td>KPI</td> <td>橋梁補修・耐震工事</td> <td>81%</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	KPI	道路舗装	24km	KPI	橋梁補修・耐震工事	81%	-		
	KPI	道路舗装	24km								
KPI	橋梁補修・耐震工事	81%									
-											



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>近年、交差点等での車両と歩行者による痛ましい交通事故が多発していることを受け、本町としても幅員が狭い箇所、見通しの悪いカーブ、利用者の多い交差点、通学路に指定されている交差点での安全対策について、下記の事業の分析内に示す箇所において安全対策工事を実施しました。</p> <p>交通安全対策工事における道路のカラー化並びに交差点の安全対策については、通学路交通安全プログラムにて挙げられた項目であり、また、通学路の指定の有無、学童人数、交通量等の要素による優先順位を定めた資料をもとに、3箇所の交差点にて対策工事を実施しました。</p> <p>交通安全施設工事における区画線において、雨天時は区画線の視距が悪くなるとの要望に対し、令和元年度に市内の交通安全対策関係課協力のもと町内における区画線の総延長並びに視距の有無について計測し、路線毎の交通量、幅員等の要素による優先順位を定めた資料をもとに、区画線の復旧工事を実施しました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
<p>交通安全対策工事 路肩部グリーン化 L=224m、A=134㎡（米山台地区）                  交差点安全対策（車止めの設置） N=4箇所（滝川台、友が丘、服部台、2000年開館前）                  カーブミラー設置 N=4箇所（北上牧、葛城台地区）</p> <p>交通安全施設工事 区画線設置・復旧 L=1,875m（友が丘、ゆりが丘、米山台、松里園、片岡台、下牧地区他）                  交差点鉄柵復旧 5箇所取替え（片岡台、米山台、北上牧地区）                  車線分離標 新設置、復旧 N=19本（ささゆり台、バス操車場）</p> <p>街路樹及び歩道改修 桜 N=4本撤去 N=2本植え替え（桜ヶ丘（西名阪沿い））</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>小規模住宅改良事業について、用地買収範囲の道路改良工事は終盤に差し掛かっていましたが、用地未買収区間の道路改良工事の実施の有無については、近隣住民から意見を求められることが増えてきたと思われます。</p> <p>幅員が狭い箇所、見通しの悪いカーブ、利用者の多い交差点、通学路に指定されている交差点での安全対策が求められると思われます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>北上牧南地区で境界未確定地となっている町有地の整理を行い、今後の事業用地の利用計画等について検討をしていく必要があります。</p> <p>町内各所において、幅員が狭い箇所、見通しの悪いカーブ、交差点等の改良箇所等について、改良改善を進めていく必要があります。</p> <p>カーブミラーの管理台帳について、町内にあるカーブミラーにおいて、設置位置、サイズ等が管理できるよう各地区毎に台帳を作成します。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	・北上牧地区 小規模住宅改良事業（用地測量業務） ・交通安全対策工事 路肩部グリーン化（桜ヶ丘3号線（通学路）） カーブミラー設置 N=10箇所（北上牧、桜ヶ丘、米山台、ささゆり台、友が丘他） 交差点防護柵設置 N=3箇所（ジョウシン裏のY字路、片岡台ヤクルト前、上牧第2小学校東詰交差点） ・交通安全施設工事 区画線設置・復旧（主要路線）、交差点鉄柵復旧、車線分離標復旧 ・街路樹及び歩道改修 桜 N=4本撤去 N=2本植え替え（桜ヶ丘（西名阪沿い）） ・違法駐車・放置自転車の取り締まり並びに啓発活動	
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>令和2年度予算作成時において、「生ごみ処理機」補助について近隣市町村の動向を調査した結果、実施している市町村もある反面、過去に実施していたが廃止している市町村もありました。このことから当町における費用対効果を考えると、ごみ減量対策への特効薬として期待できるものではないと判断したため、実施には至りませんでした。</p> <p>また、事業系一般廃棄物の排出業者へは産業廃棄物廃棄物多量排出事業者へ県との合同立入検査を実施し、減量に努めるよう指導しました。</p> <p>ごみの分け方&amp;出し方を一新し全戸配布した結果、EMボカシ菌に対する問い合わせが増加し、住民のごみの減量に対する関心が増加したと考えます。</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>EMボカシ菌に使用するパケツの配布個数</p> <p>令和元年度 29個 令和2年度 67個</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>ごみの分別については、必要に応じて都度、広報誌やホームページを更新していく必要があります。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>今までは主に家庭から排出されるごみの減量に視線を向けていましたが、今後は事業所から排出されるごみについても減量に取り組むよう事業所に働きかける必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>事業所から排出されるごみについても減量に取り組むよう事業所に働きかけます。</p>				
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	<p>町内における事業系一般廃棄物廃棄物排出事業所に立入調査を積極的に行い、分別及び減量について指導を行います。家庭系一般廃棄物については、引き続き減量に向けた情報発信に努めます。</p>					
	指標 (予定)	KPI	可燃ごみの排出量	2,969 t		
		KPI	資源ごみの収集量	206 t		
		KPI	再生資源集団回収量	831 t		
		-				
-						



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>新たな分別体制を組み込んだごみパンフレット（ごみの分け方&amp;出し方）を作成し、全戸配布し、ごみの分別に関して改めて住民に対して理解を求めるよう周知しました。</p> <p>また、高齢者の方に対して行っているふれあい収集については可燃ごみ、不燃ごみ及びプラスチック製容器包装に限定していましたが、資源ごみについてもふれあい収集を行うことを検討しました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>高齢化に伴い、ごみ出し困難者が増加する中、収集体制の見直しが望まれます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>ごみ収集体制の構築については、現在採用しているステーション方式は特定の箇所にまとめられているごみを収集するため、効率よく、収集時間の短縮、その後の作業（資源ごみ回収及び減容作業、リクエスト収集等）が円滑に遂行できるように効率的であるのに対して、戸別収集は収集時間を費やし、その後の作業にも影響を与え、各家庭に管理責任が生じるため、個々の負担増にもつながると考えられますが、今後高齢化が進む中、戸別収集も視野に入れながら、その時点において最適な収集体制を構築していきます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）	
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	高齢者に対するごみ出し支援については、可燃ごみ、不燃ごみ及びプラスチック製容器包装を対象として行ってきましたが、更なる支援策及びごみの分別の徹底を図る目的として資源ごみについても対象者に専用のボックスを貸与し、ふれあい収集を行います。		
	指標（予定）	—	
		—	
		—	
		—	
		—	





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>定期的な巡回パトロールを行いました。また、防犯カメラを設置したことにより不法投棄が少なくなりました。維持管理については、墓地敷地内の通路溝の清掃や樹木の剪定伐採を実施しました。町（市）営墓地を管理している市町村に墓地使用料について聞き取りを実施しました。</p> <p>その他、町営墓地の維持管理については、民間企業の寄付（工事）により、現在の駐車場について再整備することができました。</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>防犯カメラ設置数 2か所                  墓地使用料返還についての調査（ただし書き）                  ・奈良市 返還しない。（3ヶ月以内 全額、1年以内 9割、2年以内 7割、3年以内 5割）                  ・大和高田市 返還しない。（未使用 6/10、既使用 2/10）                  ・大和郡山市 宇陀市 大淀町 返還しない。（3年以内 2/3、6年以上 1/2、6年超 1/3）                  ・橿原市 葛城市 広陵町 返還しない。（未使用 6/10、既使用 2/10）                  ・三郷町 田原本町 返還しない。</p> <p>令和2年度 樹木剪定 約10本 樹木伐採5本                  維持管理（敷地内通路及び溝の清掃、樹木剪定）年1回 8月実施                  職員による定期的な巡回パトロール（不法投棄や樹木の成長具合確認）月1回</p>				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>町営墓地の維持管理については、適切に維持管理を行っていくとともに、参拝者の様々な要望に応えていくことが必要であると考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>返還された墓地の使用許可について、住民への周知方法（広報掲載等）を見直す必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 町営墓地使用料の返還について見直しを行います。
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	今まで通り、快適に墓参り出来るよう維持管理、パトロールを継続していきます。未使用墓地については、使用資格のある要望者に対し、使用許可を行っていきます。	
	指標（予定）	—
	指標（予定）	—
	指標（予定）	—
	指標（予定）	—



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																					
	独自の指標①		実績（値）																																																				
	独自の指標②		実績（値）																																																				
	独自の指標③		実績（値）																																																				
●事業の分析（評価の根拠・理由） 火葬炉大規模改修工事【9年計画（※）】を実施しました。 耐火材積替（1炉分：3号炉）及び、電気設備関係更新・修繕（2炉分：2号炉、3号炉）を行いました。 （※）令和元年度に動物炉の改修を追加したため、8年計画が9年計画に変更となりました。																																																							
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">【静香苑利用状況】</th> <th colspan="3">（単位：件）</th> <th colspan="3">（参考）上牧町のみ</th> </tr> <tr> <th colspan="3">全体</th> <th rowspan="2">R01</th> <th rowspan="2">R02</th> <th rowspan="2">増減率</th> </tr> <tr> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火葬</td> <td>844</td> <td>832</td> <td>-1.4%</td> <td>297</td> <td>280</td> <td>-5.7%</td> </tr> <tr> <td>式場</td> <td>301</td> <td>290</td> <td>-3.7%</td> <td>116</td> <td>96</td> <td>-17.2%</td> </tr> <tr> <td>法要室</td> <td>11</td> <td>13</td> <td>18.2%</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>-28.6%</td> </tr> <tr> <td>霊安室</td> <td>32</td> <td>43</td> <td>34.4%</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>動物の火葬</td> <td>266</td> <td>253</td> <td>-4.9%</td> <td>97</td> <td>98</td> <td>1.0%</td> </tr> </tbody> </table>					【静香苑利用状況】	（単位：件）			（参考）上牧町のみ			全体			R01	R02	増減率	R01	R02	増減率	火葬	844	832	-1.4%	297	280	-5.7%	式場	301	290	-3.7%	116	96	-17.2%	法要室	11	13	18.2%	7	5	-28.6%	霊安室	32	43	34.4%	14	15	7.1%	動物の火葬	266	253	-4.9%	97	98	1.0%
【静香苑利用状況】	（単位：件）			（参考）上牧町のみ																																																			
	全体			R01		R02	増減率																																																
	R01	R02	増減率																																																				
火葬	844	832	-1.4%	297	280	-5.7%																																																	
式場	301	290	-3.7%	116	96	-17.2%																																																	
法要室	11	13	18.2%	7	5	-28.6%																																																	
霊安室	32	43	34.4%	14	15	7.1%																																																	
動物の火葬	266	253	-4.9%	97	98	1.0%																																																	
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																					
	評価の根拠及び理由 築年数の経過に伴い、効率的な施設の管理・運営が求められています。																																																						
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																																																					
	評価の根拠及び理由 効率的な施設運営を図り、火葬炉大規模改修工事（9年計画）により計画的な改修を行っていきます。																																																						

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 築年数の経過に伴い、施設の適切な維持管理のため、計画的に火葬炉大規模改修工事（9年計画）を行っていくとともに、必要に応じて設備の修繕等を行っていきます。			
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	耐火材積替（1炉分：2号炉）及び、電気設備関係更新・修繕（2炉分：1号炉、5号炉）を行います。				
	指標 （予定）	-			
		-			
		-			
		-			



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>令和2年度において、開発事前協議は3件指導いたしました。3件の内訳は、分譲宅地1件、店舗1件、倉庫1件を指導しました。その中で特に重点的に指導した内容として、宅地開発については、開発地の出入口が通学路に面しているため、関係各課と協調して安全対策を徹底するよう指導しました。店舗開発については、開発地の自治会への事前説明がなく過去に問題となった経緯があるため、地元自治会と確実に協議するように指導しました。倉庫開発については、開発地周辺が住宅地であることから、騒音及び悪臭等住環境への影響がない計画とするよう指導しました。</p> <p>また、開発許可申請については2件、宅地造成許可申請については1件の申請があり、内容を検討した結果都市計画法上問題ないことが確認できたため、「都市計画法上支障がないこと」を副申しました。</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>調和のとれた地域開発によって公共福祉の増進に努めていかなければなりません。人口減少に伴い今後新たな開発が行われる機会は減少すると考えられます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>上牧町開発指導要綱に基づいて開発指導を行っていますが、今後県の開発指導要綱（開発許可制度に関する審査基準集）の更新や人口減少等時代の変化に合わせて、将来的には上牧町の特性に対応した開発指導要綱の見直しが必要になってくると考えられます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	宅地開発に対し、良好な生活環境の形成と秩序あるまちづくりの実現に向けた取組を行います。また、本町で行われる開発行為について関係各課と事前協議を行い、上牧町としての意見書を取りまとめ開発事業者に対し指導を行います。特に開発地が通学路に面している場合は、十分な交通安全対策を講ずるよう開発業者に対し、関係各課と協議をして指導を行ってまいります。	
	開発指導要綱の改定に向けて参考になるような他市町村の開発指導要綱の調査を行い、内容について研究してまいります。	
	指標（予定）	—
	指標（予定）	—
	指標（予定）	—



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
維持管理については、適正に実施しました。受託使用料については、督促状、催告状を発送しました。				
住宅整備の現状				
町営住宅 管理戸数223戸 入居戸数156戸 空家戸数 67戸				
町営第1住宅：管理戸数 35戸 入居戸数 35戸 空家戸数 0戸 除却戸数 2戸（転出等）				
町営第2住宅：管理戸数 60戸 入居戸数 37戸 空家戸数 23戸				
町営第3住宅：管理戸数 20戸 入居戸数 13戸 空家戸数 7戸				
町営第4住宅：管理戸数 30戸 入居戸数 16戸 空家戸数 14戸				
町営第5住宅：管理戸数 54戸 入居戸数 41戸 空家戸数 13戸				
町営第6住宅：管理戸数 24戸 入居戸数 14戸 空家戸数 10戸				
改良住宅 管理戸数 199戸 入居戸数 174戸 空家戸数 25戸				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
修繕（維持管理）件数 町営住宅38件、改良住宅17件（修繕内容：屋根雨漏り、壁修繕等）				
住宅使用料の徴収率				
令和元年度 町営住宅81.9%、改良住宅92.0%、町営住宅駐車場87.9%				
令和2年度 町営住宅81.1%、改良住宅94.1%、町営住宅駐車場91.9%				
督促状発送状況 町営住宅247件、改良住宅141件、町営駐車場115件				
住宅整備については、				
町営住宅・・・町営第1・2住宅は解体除却、町営第3・4住宅は用途廃止を検討、町営第5・6住宅は長寿命化を図ります。				
改良住宅・・・政策空家25件を町営住宅とみなして賃貸する予定です。				
収入申告時に全住宅入居者あてに請書の見直しを行い、保証人が設置できない場合は、緊急連絡先を届け出してもらいました。				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
不特定多数に発生する修繕については、今まで通り、迅速に対応する必要があると思われま。				
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
住宅使用料については、督促状を発送するだけではなく、入居者の現状を把握する必要があります。また、困窮している場合は福祉部局と連携を取っていきます。長寿命化計画が完成したことにより、今後の方向性を明確化していく必要があります。改良住宅については、政策空家25件の屋内外の現状を調査する必要があります。また、応能応益家賃として賃貸する見直しが急務と考えます。				

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）				
長寿命化計画が完成したことにより、具体的な方向性を示す必要があるため、町営住宅運営基本方針策定委員会を設置します。						
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	維持管理については、今まで通り継続していきます。長寿命化計画に基づいて運用していきます。住宅使用料については、督促状の確実な発送、口座振替手続きへの変更を促します。過年度分の滞納家賃については、債権管理条例に基づいて、適切な滞納整理業務を行っていきます。					
	長寿命化計画が完成したことに伴い、令和3年度において、町営住宅運営基本方針策定委員会を設置し、具体的な方向性について検討を進めていく予定です。					
	指標（予定）	-				
	指標（予定）	-				
	指標（予定）	-				





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	独自の指標①	空き家・空き地バンク登録件数（累計）	実績（値）	3件
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由） 特定非営利活動法人 空き家コンシェルジュと共同で「空き家セミナー・相談会」の開催しましたが、利活用ユーザーの有効活用率上昇につながりませんでした。 空き家バンク登録登録物件数 3件				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある		
	評価の根拠及び理由 少子高齢化の進展に伴い、今後も空き家件数は増加していくことが見込まれるため、空き家に関する問題についても増加すると考えられます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない		
	評価の根拠及び理由 空き家バンクの登録件数の増加のための取組は必要ですが、空き家バンク運営のみにとらわれず、多方面に渡る空き家問題に対し、包括的に取り組む必要があります。 空き家・空き地バンク情報等のインターネット情報を広報に掲載していきます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 空き家問題の分野は多岐に渡るため、関係各課と連携を図りながら、空き家問題の取組に詳しい特定非営利活動法人 空き家コンシェルジュの知恵を借りることで、空き家対策に取り組んでいく必要があります。 空き家所有者に対して空き家について考える機会を増やすため、空き家・空き地バンク情報の紹介や空き家コンシェルジュへの相談窓口案内等を広報にてお知らせしていくことを検討していきます。		
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	住民に広く空き家の利活用についての見識を深めるため、今後も特定非営利活動法人 空き家コンシェルジュに協力していただき、空き家相談会の開催を継続します。 空き家バンクや空き家相談会の情報を空き家所有者へ訴求できる方法として税務課に協力のもと、固定資産税請求時に案内を送ります。また、空き家実態調査時に行ったアンケートにより判明した利活用に興味を示されている空き家所有者に対しても案内状の送付を考えていきます。不動産流通に乗らないような空き家についても、先進的な取組を行っている空き家コンシェルジュと連携することで解決できるよう検討していきます。 町内空き家の実態を調査し、所有者に対して空き家の今後の方向性を確認してもらいます。その調査実施に伴い、各自治会にて保有している空き家情報の提供依頼も実施します。また、空き家情報等を広報にて掲載していくことを検討していきます。			
	指標（予定）	KPI	町内の住宅における耐震化率	95%
		KPI	町内空き家の利活用ユーザー数	10%
		独自	空き家・空き地バンク登録件数（累計）	10件
		-		



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった														
	独自の指標①	UR住宅における年間転入者数		実績（値） 110人														
	独自の指標②			実績（値）														
	独自の指標③			実績（値）														
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>UR都市機構との協議においては、令和3年度に策定する総合計画や総合戦略における、URとの取組の位置づけなどについての議論が中心となり、入居促進に関して、他自治体で実施していることの横展開等について要望しましたが、新型コロナウイルス感染症関連支援策（入居制度の拡充）や既存の割引サービスの紹介にとどまりました。また、令和元年度から連携している「地域医療福祉拠点化の推進」について、西大和片岡台団地における生活支援アドバイザー（※）の新規配置に向けた取組が進められる予定でしたが、令和2年度は実現に至りませんでした。</p> <p>（※）生活支援アドバイザーとは 高齢者の見守り・生活相談・交流促進を行うとともに、日頃から高齢者と地域関係者をつなぐ役割を担います。</p> <p>【UR都市機構との勉強会】 平成29年度 … 1回（UR都市機構の計画・方針の確認、UR西大和片岡台の課題の共有等） 平成30年度 … 5回（連携内容についての協議等） 令和元年度 … 3回（「地域医療福祉拠点化の推進」に係る調整、施設改修（リノベーション、外壁塗装等）方針の確認等） 令和2年度 … 3回（新型コロナウイルス感染症関連支援策の情報提供、既存サービス・事例紹介、総合計画の策定方針・スケジュール確認等）</p>																		
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>【UR住宅年間転入者数（人）】</p> <table border="1"> <caption>【UR住宅年間転入者数（人）】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>転入者数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table>					年度	転入者数（人）	H27	96	H28	93	H29	75	H30	79	R01	103	R02	110
年度	転入者数（人）																	
H27	96																	
H28	93																	
H29	75																	
H30	79																	
R01	103																	
R02	110																	
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある														
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>UR西大和片岡台については、今後も人口減少が深刻化していくことが予想されており、今後の活用や入居促進について、UR都市機構と行政間での具体的な協議・取組を望む住民は増えています。</p>																	
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない														
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>若者の移住・定住促進につながる取組として、リノベーションやDIYに対する支援制度など、若者に好まれる環境整備の支援が考えられますが、協議が進展していない状況です。UR都市機構との連携で類似の支援を実施している他団体に、どのような方法（費用負担等）で実現できたのかなどについてヒアリングを行うなど、今後も引き続き情報収集を行いながら、UR都市機構との協議を継続していきたいと考えます。</p>																	

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>UR都市機構との連携で類似の支援を実施している他団体にヒアリングを行うなど、今後も引き続き実現に向けた情報収集を行いながら、UR都市機構との協議を継続していきたいと考えます。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>引き続きUR都市機構と連携し、「地域医療福祉拠点化の推進」以外の事業についても連携の可能性について協議を行うとともに、入居促進の取組として、UR西大和片岡台の整備方針を踏まえて、UR都市機構と相談しながら啓発活動やリノベーションに関する要望等を行う予定です。また、総合計画（後期基本計画）の策定にあたり、UR都市機構との連携によるまちづくりにおいて、実現可能な取組内容（目標）についても協議を行います。</p>					
	指標（予定）	独自	UR住宅における年間転入者数		110人	
		—				
		—				



## 3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由） UR住宅の活用協議の中で、UR都市機構が提供している既存のサービス「近居割」について紹介していただき、同居・近居に関する問い合わせ対応用の資料の提供を受けましたが、支援体制の構築に至らず、同居・近居に関する問い合わせもありませんでした。				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 高齢化が進行するに伴い、親世代との同居や近居の支援に関するニーズは増えてくると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 同居・近居に関する相談に対し、様々な選択肢を提案できるように内容の拡充や体制の確立が必要であると考えます。			

## 4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期： ）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 同居・近居に関する相談に対し、様々な選択肢を提案できるよう内容の拡充や体制の確立に向けた取組を進めていきます。					
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	同居・近居も含め、移住に関する問い合わせに対応できる体制づくりと問い合わせを呼び込む情報発信について、他の自治体の事例の調査・研究を行います。また、体制づくりの一環として、UR都市機構との協議の中で同居・近居支援を含めた活用について検討していく予定です。						
	指標 （予定）	KPI					
		—					
		—					
		—					



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった										
	独自の指標①		実績（値）											
	独自の指標②		実績（値）											
	独自の指標③		実績（値）											
●事業の分析（評価の根拠・理由）														
<p>水道施設の適正な管理により、安定した供給が行えるよう、配水管の耐震化を進め、おいしい水と安定した水道事業の適正な運用に努めています。</p> <p>奈良県域水道事業等の統合に関して、令和2年度では基本方針の策定・覚書の締結を実施しました。委託料及び配水管（工事請負費）については、一部計画どおり行いました。</p> <p>委託料：水道メーター検針・電気計装設備保守点検等を実施しました。          委託料：電算機保守委託料・水道料金集金委託等を実施しました。          委託料：上牧町水道事業管理棟耐震補強工事基本・詳細設計業務を実施し一部完了しました。          委託料：上牧町水道事業配水池耐震化に伴う詳細設計業務を実施しました。          委託料：桜ヶ丘地区、滝川台地区の漏水調査業務を実施しました。          工事請負費：町道・米山台21・24・25号線配水管布設替え工事を実施しました。          工事請負費：町道・米山台24・25号線配水管布設替え工事を実施しました。</p> <p>＜町道 米山台21・24・25号線配水管（総延長＝222m）について＞          【更新前】21号線 布設年/昭和50年 管種/VP 口径/30mm 【更新後】管種/DIP-GX 口径/75mm          24号線 布設年/昭和50年 管種/VP 口径/50mm 管種/DIP-GX 口径/75mm          25号線 布設年/昭和50年 管種/VP 口径/50mm 管種/DIP-GX 口径/75mm</p>														
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。														
<p>【有収率（％）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>93.86</td> <td>93.80</td> <td>93.05</td> <td>93.19</td> <td>93.95</td> </tr> </tbody> </table>					H28	H29	H30	R01	R02	93.86	93.80	93.05	93.19	93.95
H28	H29	H30	R01	R02										
93.86	93.80	93.05	93.19	93.95										

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 【管路耐震化更新計画の策定】 管種・布設年度等のデータを基に管路更新の優先順位を定めます。耐震管を用いた管路を形成することにより耐震化を図ります。 【管路の健全化】 管路更新計画を基に優先度の高い箇所より計画的に実施します。				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	県域水道一体化に向けて、令和3年度の動向として、準備室の業務開始、企業団設立協議会の設置・企業団基本計画の策定が予定されており、各市町村で対応を進めます。 令和3年度事業としては、水道事業配水池耐震化工事の実施及び服部台明星線整備に伴う水道管布設工事の実施を予定しています。 今後大口径の漏水事故を繰り返さない為にも、管路耐震化更新計画の策定が必須であり、令和3年度において本計画の策定を予定しています。また、管路耐震化更新計画の策定を優先できるよう人員配置についても再考を行い、運営強化を目指します。 また、水道料金の引下げを予定しており、滞りなく対応できるよう準備を行います。					
指標（予定）	KPI	有収率			94.10%	
	-					
	-					
	-					





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																
	独自の指標①	下水道管渠整備延長	実績（値）	239.3m																																																
	独自の指標②	下水道長寿命化計画改築率	実績（値）	100%																																																
	独自の指標③	下水道ストックマネジメント計画に伴う調査・診断達成率	実績（値）	53%																																																
	独自の指標④	下水道事業公営企業法適用業務作業達成率	実績（値）	20%																																																
●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																				
<p>①葛下川第5処理分区（北上牧地区）及び、滝川第1処理分区（新町地区）の面的整備において、予定通り設定した区間整備を実施することができました。</p> <p>②西大和第1処理分区（片岡台地区）の長寿命化計画については、本年度計画した改築工事が完成したことにより、改築率が100%となり、本計画は終了となりました。</p> <p>③下水道管渠の老朽化対策である下水道ストックマネジメント計画に基づき、築造年度の古い西大和第2処理分区（片岡台地区）の修繕改築計画を完成させ、また、西大和第1処理分区（桜ヶ丘の一部地区）及び、滝川第1処理分区（葛城台の一部地区）の調査・診断業務（L=2,506m）が完成したことにより、達成率が53%になりました。</p> <p>④下水道事業公営企業会計適用に向けての移行作業として、基本計画を策定すると共に固定資産評価マニュアルの作成も行いました。</p> <p>○水洗化率は事業の分析表のとおりであり、令和2年度当初に北上牧の一部地区においての供用開始に伴い処理区域内人口が増加したことにより、水洗化率が96.26%と低下はしたものの、未接続家庭への個別訪問等を行い水洗化率向上に向けた取組を行った結果、目標値である96.40%にまで向上させることができました。</p>																																																				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																				
【普及率及び水洗化率】																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>住民基本台帳人口</th> <th>処理区域内人口</th> <th>普及率</th> <th>水洗化人口</th> <th>水洗化率</th> <th>処理区域面積</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>22,642人</td> <td>21,496人</td> <td>94.94%</td> <td>20,713人</td> <td>96.36%</td> <td>381.46ha</td> <td>確定</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>22,390人</td> <td>21,373人</td> <td>95.46%</td> <td>20,611人</td> <td>96.43%</td> <td>381.54ha</td> <td>確定</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>22,212人</td> <td>21,194人</td> <td>95.42%</td> <td>20,485人</td> <td>96.65%</td> <td>382.12ha</td> <td>確定</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>22,057人</td> <td>21,111人</td> <td>95.71%</td> <td>20,352人</td> <td>96.40%</td> <td>382.15ha</td> <td>確定</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>21,800人</td> <td>21,019人</td> <td>96.42%</td> <td>20,284人</td> <td>96.50%</td> <td>384.50ha</td> <td>推測</td> </tr> </tbody> </table>					年度	住民基本台帳人口	処理区域内人口	普及率	水洗化人口	水洗化率	処理区域面積	備考	H29	22,642人	21,496人	94.94%	20,713人	96.36%	381.46ha	確定	H30	22,390人	21,373人	95.46%	20,611人	96.43%	381.54ha	確定	R01	22,212人	21,194人	95.42%	20,485人	96.65%	382.12ha	確定	R02	22,057人	21,111人	95.71%	20,352人	96.40%	382.15ha	確定	R03	21,800人	21,019人	96.42%	20,284人	96.50%	384.50ha	推測
年度	住民基本台帳人口	処理区域内人口	普及率	水洗化人口	水洗化率	処理区域面積	備考																																													
H29	22,642人	21,496人	94.94%	20,713人	96.36%	381.46ha	確定																																													
H30	22,390人	21,373人	95.46%	20,611人	96.43%	381.54ha	確定																																													
R01	22,212人	21,194人	95.42%	20,485人	96.65%	382.12ha	確定																																													
R02	22,057人	21,111人	95.71%	20,352人	96.40%	382.15ha	確定																																													
R03	21,800人	21,019人	96.42%	20,284人	96.50%	384.50ha	推測																																													
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>下水道未整備地区からの管渠整備への要望が多いこと。また、西大和地区の下水道管渠については、敷設40年以上経過している管渠も多く老朽化が進んでいるため、改築更新事業を行っていく必要が生じています。</p>																																																			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>事業の整備計画変更等により、将来計画に伴う施工箇所を見直しいくと共に、町民からの要望に沿うよう事業を進めていきます。また、今後の補修整備については、ライフライン確保の観点からも早急な補修が要求されます。</p>																																																			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 下水道未整備地区（北上牧地区の一部）においては、事業整備計画に基づき計画的な工事発注を行い管渠の整備を促進し、町民の生活環境の向上を図ります。なお、（新町地区の一部）については、令和2年度で完了し（服部台地区の一部）については、令和3年度完了予定となっております。 下水道管渠の老朽化対策については、片岡台2丁目地区での長寿命化計画による改築工事が令和2年度で完了となり、引き続き片岡台1丁目地区において、下水道ストックマネジメント計画に伴う改築事業を進めていきます。 下水道事業公営企業会計適用に向けて、令和2年度に移行作業を実施し令和5年度移行を目指します。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	都市計画道路（服部台明星線）新設に伴い、滝川第1処理分区（服部台地区）の管渠整備工事を実施し、滝川第1処理分区（葛城台の一部地区）において、下水道ストックマネジメント計画に伴う調査・診断業務を実施すると共に、西大和第2処理分区（片岡台1丁目地区）においては、改築事業を実施します。 下水道事業公営企業会計適用に向けて、下水道固定資産の調査・評価を実施します。 水洗化率については、令和3年度目標値に達するよう水洗化への啓発活動を行っていきます。				
	指標（予定）	KPI	水洗化率	96.50%	
		独自	下水道管渠整備延長	278m	
		独自	下水道ストックマネジメント計画改築率	7.0%	
		独自	下水道ストックマネジメント計画に伴う調査・診断達成率	57.0%	
		独自	下水道事業公営企業法適用業務作業達成率	66.0%	



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
バリアフリー基本構想推進協議会の開催（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催としました） 令和2年12月 第1回上牧町バリアフリー基本構想推進協議会開催（書面開催）「特定事業計画（検討）」 令和3年 3月 第2回上牧町バリアフリー基本構想推進協議会開催（書面開催）「特定事業計画（案）」 上牧町バリアフリー基本構想庁内検討委員会の発足、開催 上牧町バリアフリー基本構想庁内検討委員会開催 参加所属（総務課、生活環境課、福祉課、こども支援課、教育総務課、社会教育課、政策調整課、生き活き対策課） 開催日・参加人数 令和3年1月（9人）、令和3年2月（10人）、令和3年2月（8人） 対策工事 奈良県高田土木事務所管轄である中筋出作川合線において、中筋出作川合線歩道工事が発注されました。 （工事延長 L=560m、工事場所 白鳩保育園から米山台憩の家）				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
バリアフリー重点地区内における町道歩道部の点字ブロック整備延長 点字ブロック整備延長 整備済延長／総延長 455m／1,985m 23%				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	高齢化や障がい者の移動について、地形上の問題から徒歩による移動の円滑化や移動手段の充実を求めるニーズは今後も増えてくると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	上牧町バリアフリー基本構想を策定したことにより、今後は本基本構想をもとに環境整備を行う予定ですが、事業の見直しにつきましては、現地の状況調査等をした上で、できるところからバリアフリー化を検討していきたいと考えています。 また、上牧町バリアフリー基本構想推進協議会を開催し、基本構想策定後の段階的、継続的な取組（スパイラルアップ）に向けての体制づくりを行っていき、進捗状況の把握、事業評価、その他の効果の検証、評価を踏まえた計画等の見直しを行ってまいります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 本基本構想の推進にあたっては、PDCAサイクルを機能させながら進行管理を行うこととしており、本基本構想において課題の残る部分についてはブラッシュアップを図るとともに、事業の実施にあたっては、バリアフリー基本構想計画書に則り特定事業計画を行うことで事業の推進を図ります。 また、上牧町バリアフリー基本構想推進協議会を開催し、基本構想策定後の段階的、継続的な取組（スパイラルアップ）に向けての体制づくりを行っていき、進捗状況の把握、事業評価、その他の効果の検証、評価を踏まえた計画等の見直しを行ってまいります。			
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	バリアフリー基本構想推進協議会を開催します。（3回） 庁内検討委員会を開催します。（2回） 特定事業計画を策定します。（修正から成案）  奈良県高田土木事務所管轄 工事名 中筋出作川合線歩道工事（現道の段差を解消する工事） 工期 令和3年1月25日から令和3年6月30日 中筋出作川合線歩道工事 延長 L=560m				
	指標（予定）	KPI	歩道のバリアフリー整備状況		23%
		—			
		—			
		—			



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
バリアフリー基本構想推進協議会の開催（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催としました） 令和2年12月 第1回上牧町バリアフリー基本構想推進協議会開催（書面開催）「特定事業計画（検討）」 令和3年 3月 第2回上牧町バリアフリー基本構想推進協議会開催（書面開催）「特定事業計画（案）」 上牧町バリアフリー基本構想庁内検討委員会の発足、開催 上牧町バリアフリー基本構想庁内検討委員会開催 参加所属（総務課、生活環境課、福祉課、こども支援課、教育総務課、社会教育課、政策調整課、生き活き対策課） 開催日・参加人数 令和3年1月（9人）、令和3年2月（10人）、令和3年2月（8人） 奈良県高田土木事務所管轄である中筋出作川合線において、現歩道の段差解消事業が発注されました。 （工事延長 L=560m、工事場所 白鳩保育園から米山台憩の家）				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	高齢化や障がい者の移動について、地形上の問題から徒歩による移動の円滑化や移動手段の充実を求めるニーズは今後も増えてくると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	上牧町バリアフリー基本構想を策定したことにより、今後は本基本構想をもとに環境整備を行う予定ですが、事業の見直しについては、現地の状況調査等をした上で、できるところからバリアフリー化を検討していきたいと考えています。 バリアフリー基本構想推進協議会を中心として適宜事業の評価を行い必要に応じて見直しを行うPDCAサイクルにより、事業スケジュールの適正な管理と事業の質の確保を行っていく必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 本基本構想の推進にあたっては、PDCAサイクルを機能させながら進行管理を行うこととしており、本基本構想において課題の残る部分についてはブラッシュアップを図るとともに、事業の実施にあたっては、バリアフリー基本構想計画書に則り特定事業計画を行うことで事業の推進を図ります。 平成30年に策定した上牧町バリアフリー基本構想の見直し時において、重点整備地区並びに特定事業の修正項目として、避難場所に指定されている公園を高齢者や体が不自由な方が災害時においても安全に避難ができるように、公園出入口のバリアフリー化を実施できるような計画等を取り入れ、すべての町民の安全を確保できるよう進めていきます。
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて記載してください。）	バリアフリー基本構想推進協議会を開催します。（3回）	
	庁内検討委員会を開催します。（2回）	
	特定事業計画を策定します。（修正から成案）	
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-



## 3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
桜ヶ丘駐輪場花壇の会には、夏にはジニア100本、マリーゴールド100本、冬にはパンジー150本を植えてもらい景観保全に努めました。 農業委員会には、遊休農地（1筆）を利用して、春はコスモス、冬にはレンゲを植えてもらい景観保全に努めました。 「ら・かんまき・笹ゆり」については、笹ゆり植栽活動（役場前、上牧小学校、上牧第三小学校、上牧第二中学校、金富公園、桜ヶ丘公園、2000年会館東側土手、米山台いこいの広場）を行っていただきました。笹ゆりの球根をベガサスフェスタへ提供する活動や役場ロビーでの笹ゆりの展示は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 景観保全目的で植えている花ですが、住民の方からも評判が良く、引き続き活動を続けてほしいとのお声をいただきました。笹ゆりについては、開花時期の5～6月には開花場所や購入に関する問い合わせがたくさん寄せられており、ニーズは高いと思います。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 全ての団体の活動に対して周知活動を行っていません。また、借り手のない遊休農地をピックアップし、全ての団体の活動に利用できるかを土地所有者と交渉します。			

## 4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 全ての団体の活動に対して、広報やホームページに掲載するなどの周知活動を行うとともに、借り手のない遊休農地を全ての団体の活動に利用してもらうことで景観保全に努めていきます。また、これら以外の活動団体を募集し本事業の推進に努めていきます。					
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	桜ヶ丘駐輪場花壇の会に、時期に応じた花を植えてもらい景観保全に努めます。 農業委員会に遊休農地を利用して花を植えてもらい景観保全に努めます。 「ら・かんまき・笹ゆり」が行っている笹ゆり植栽活動、笹ゆり展開催、笹ゆりの球根をベガサスフェスタへ提供する活動等を支援していきます。						
	指標 （予定）	-					
		-					
		-					
		-					





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>整備が行き届いていない森林の所有者の方への通知や里山保全の認知活動をおおむね月1回程度、農業委員会の協力のもと行いました。また同時に不法投棄等が行われていないかの調査も行いました。</p> <p>町内ボランティア団体「ラックスフォレスト」に里山（下牧地区 竹林0.1ha）の幼竹伐採等の整備を行っていただきました。</p> <p>今後の森林に関する事業展開や森林被害・事故・災害に備えるため森林環境譲与税（1,642千円）を基金へ積み立てました。</p> <p>上牧町の山林におけるイノシシ発生に伴い、里山の保全及び住民への被害を防ぐため猟友会協力のもと防除活動を行い、14頭のイノシシを捕獲しました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>里山の保全について、上牧町の森林は個人所有のものが大半を占めており、整備が行き届いていない森林も多くみられるので、近年災害対策等が注目されていることも踏まえると今後ニーズは増えることが予想されます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>里山を保全することによる環境改善や防災対策、鳥獣対策等のメリットがあるということを多くの森林所有者の方は認知されておりません。また、相続されていない森林や所有者不明の森林も多数存在するため周知活動は必須となっております。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） <p>里山を保全することによる環境改善や防災対策、鳥獣対策等のメリットがあるということを森林所有者の方へ通知し、認知してもらおう活動を行うとともに、町のHPや広報に掲載します。また、相続されていない森林や所有者不明の森林を少しでも減らすよう、農業委員会協力のもと周知活動を行っていきます。</p>	
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	山林等への不法投棄について、月1回程度パトロールを実施するなどの啓発活動を関係課とともに行います。宅地開発に対し良好な生活環境に配慮した指導の取組及び関係各課での事前協議の実施と指導を行います。上牧町森林整備計画に基づき、森林の伐採等の申請があった際、計画に沿った申請であるか確認し指導を行います。整備が行き届いていない森林の所有者の方への通知や、里山保全の認知活動を行います。森林環境譲与税を活用または基金へ積み立てることにより、環境保全に関する事業を推進していきます。有害鳥獣被害防除事業として、山林におけるイノシシ等の有害鳥獣の防除活動を展開します。		
	指標（予定）	-	
		-	
		-	
		-	



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>定期的な巡回パトロール（毎週月曜日実施）により、不法投棄の防止及び監視体制の強化に努めました。過去に不法投棄された場所及び看板設置依頼のあった場所（34ヶ所）に対して、「不法投棄禁止」看板を設置を行いました。また、不法投棄抑止装置を購入し、町内18ヶ所に設置を行いました。</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>【不法投棄防止看板設置場所】                  ・北上牧（11ヶ所）・南上牧（11ヶ所）・新町（4ヶ所）・服部台（2ヶ所）・緑ヶ丘（2ヶ所）                  ・釘池公園（2ヶ所）・2000年会館（2ヶ所）</p> <p>【不法投棄抑止装置】                  ・南上牧（9ヶ所）・北上牧（9ヶ所）</p>				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>「不法投棄防止」の啓発看板について自治会や個人から申請があり、それぞれの管理地において看板を設置しているため、不法投棄について防止契約の要望があります。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>引き続き、定期的な巡回パトロールを行い、不法投棄の防止及び監視体制の強化に努めますが、撲滅したわけではないので、自治会等との連携を視野に入れ、町全体で監視するイメージで対策を講じます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） ----- 現状の対策に加え、新たな対策を模索していきます。
令和3年度 実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）		定期的な巡回パトロールを行い、不法投棄の防止及び監視体制の強化に努めます。
指標（予定）	—	
	—	
	—	
	—	
	—	



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった												
	独自の指標①		実績（値）													
	独自の指標②		実績（値）													
	独自の指標③		実績（値）													
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>「上牧町空き家等及び空き地の適正な管理に関する条例」の規定に基づき、土地所有者に対して①立入調査実通知書、②指導書、③勧告書、④命令に係る事前の通知書、⑤命令書の通知を行い、必要な措置を講ずるよう指導しました。</p> <p>また、「空き家等及び空き地の適正な管理に関する条例」に該当しない空き地については、「上牧町廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」に基づき適正管理に努めるよう指導しました。</p>																
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>・上牧町空き家等及び空き地の適正な管理に関する条例【カッコ内は前年度】</p> <table border="0"> <tr> <td>①立入調査実通知書</td> <td>36件（43件）</td> <td>②指導書</td> <td>4件（11件）</td> </tr> <tr> <td>③勧告書</td> <td>1件（7件）</td> <td>④命令に係る事前の通知書</td> <td>1件（4件）</td> </tr> <tr> <td>⑤命令書</td> <td>1件（2件）</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・上牧町廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例に基づく通知 15件（16件）</p> <p>以上の結果として、「上牧町空き家等及び空き地の適正な管理に関する条例」に係る土地所有者から返答があり除草及び樹木伐採を実施されました。「上牧町廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」に係る所有者については1件返答がなく、未実施となりました。</p>					①立入調査実通知書	36件（43件）	②指導書	4件（11件）	③勧告書	1件（7件）	④命令に係る事前の通知書	1件（4件）	⑤命令書	1件（2件）		
①立入調査実通知書	36件（43件）	②指導書	4件（11件）													
③勧告書	1件（7件）	④命令に係る事前の通知書	1件（4件）													
⑤命令書	1件（2件）															
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある												
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>空き地に隣接した住民から定期的な清掃が求められています。</p>															
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない												
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>「上牧町空き家等及び空き地の適正な管理に関する条例」において、想定されない事案（居所不明者や相続人不明）があるため、今後においてはそのような場合どのように処理していくか追究していく必要があります。また、町が関与せず所有者が定期的に自身の土地について適正に管理するよう働きかけていきます。</p>															

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） <p>「上牧町空き家等及び空き地の適正な管理に関する条例」において想定されない事案については、顧問弁護士の意見と取り入れ対策していきます。</p>
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	前年度に引き続き、「上牧町空き家等及び空き地の適正な管理に関する条例」の規定に基づき、立入調査実通知書②指導書③勧告書④命令に係る事前の通知書⑤命令書⑥公表に係る事前の弁明の機会の付与通知書の過料に係る事前の弁明の機会の付与通知書⑧戒告書⑨代執行令書という手順に沿って対応します。また上記条例対象外の土地については、「上牧町廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」に基づき指導を行います。	
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①			実績（値）
	独自の指標②			実績（値）
	独自の指標③			実績（値）
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から清掃活動を中止しました。 滝川河床の堆積土砂撤去工事（高田土木事務所管轄） 県管理である滝川に対し、土砂の浚渫を要望 令和2年度は、工事延長 L=700m、堆積土砂の撤去V=1,613m <sup>3</sup> 、堤防除草A=4,912m <sup>2</sup> 、塵芥処理A=4,912m <sup>2</sup> を実施していただきました。				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
○滝川 土砂浚渫撤去実績位置図				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 滝川の清掃活動について、より多くの活動を要望されることが想定されます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 いかに滝川の清掃活動を有効かつ効率的に進めるか、毎年実施していく中で検討していく必要があります。また、滝川水辺の整備事業と連携を取り合い、滝川の美化活動について検討する必要があります。 環境保全について、住民を盛り上げる政策をいかに進めるか検討していく必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 大和川一斉清掃の一環として、水質改善啓発活動の実施並びに滝川の一斉清掃を実施します。 今後の活動方針として、現課だけの取組ではなく、現課以外の職員についても協力要請を呼びかけ、また、広報による呼びかけ以外にも一般参加者の参加人数の増加に向けた取組を検討し、清掃活動規模の拡大に向けた検討を行っていきます。
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	町域のパトロールを実施し、環境汚染の未然防止と的確な実情把握に努めます。 大和川流域における水環境の意識改善を促し、水質異常を防止するための啓発活動を毎年2月頃に実施します。また、大和川一斉清掃、大和川クリーンデーの一環としての滝川における清掃については、広報及び自治会回覧を活用し、住民参加型のボランティアへの呼びかけを行い、3月と7月に清掃活動を実施します。 ただし、新型コロナウイルス感染防止の観点から社会情勢を注視し、実施の可否について検討します。	
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-





3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった												
	独自の指標①	滝川遊歩道整備事業進捗率		実績（値） 46.7%												
	独自の指標②			実績（値）												
	独自の指標③			実績（値）												
●事業の分析（評価の根拠・理由）																
<p>大学と地元NPOと協働による「滝川における清らかな水辺の創造計画」を実現するため、平成29年度で立案した滝川水辺周辺地区整備計画（5ヶ年計画）について、令和2年度では、滝川右岸において文化センターから葛城台までの区間の遊歩道整備を実施し、左岸においては、まきは郵便局から滝川台入り口までの区間の遊歩道整備を実施しました。また、県において親水護岸整備工事を実施していただきました。その他、滝川河床の堆積土砂撤去工事についても昨年に引き続き実施していただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設撤去工 AS舗装撤去 2,468㎡ 照明柱撤去 30基</li> <li>○園路広場整備工 カラーAS舗装 3,488㎡</li> <li>○管理施設整備工 転落防止柵 326m</li> <li>○電気設備工 ハンドホール 5箇所</li> <li>照明柱 33基</li> <li>埋設管 1,302.8m</li> <li>電線 1,448.6m</li> </ul>																
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																
<p style="text-align: center;">【滝川遊歩道整備事業進捗率】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>滝川遊歩道整備事業進捗率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>11.5%</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>46.7%</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>91.9%</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	進捗率	H30	11.5%	R01	22.6%	R02	46.7%	R03	91.9%	R04	100.0%
年度	進捗率															
H30	11.5%															
R01	22.6%															
R02	46.7%															
R03	91.9%															
R04	100.0%															
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある												
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>滝川周辺は野鳥や季節ごとの草木が観察でき、町民にとって身近な散歩道となっています。また、高齢化の進展に伴い住民の健康志向の高まりもあり、遊歩道整備についての要望は高くなっていると考えられます。</p>															
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない												
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>上牧町第5次総合計画において、将来都市構想における都市の骨格となる軸と位置付けている「かんまき笹ゆり回廊」を中心としたにぎわいあるまちづくりを目指して、県と連携して滝川の水辺景観整備を今後も進めて行く必要があります。</p>															

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）					
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） <p>滝川親水護岸整備工事箇所について、農繁期に水を溜めた場合でも通行可能な高さへのかさ上げと防護柵及び門扉を設置する工事を奈良県高田土木事務所に令和3年度に実施していただきます。</p>					
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>大学と地元NPOと協働による「滝川における清らかな水辺の創造計画」を実現するため、平成29年度で立案した滝川水辺周辺地区整備計画について、令和3年度以降以下の通り実施予定です。</p> <p>令和3年度 遊歩道整備（左岸）・葛城台地区公園整備</p> <p>令和4年度 下牧地区公園整備</p> <p>「かんまき笹ゆり回廊」を中心としたにぎわいあるまちづくりを目指して、県と連携して滝川の水辺景観整備を遊歩道整備後も引き続き行っていきます。</p>						
	指標（予定）	独自	滝川遊歩道整備事業進捗率			92%	
		-					
-							



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>令和2年度では、公園内の遊具の安全性を確保するため、町内の全公園59箇所において、公園施設点検管理士の有資格者に依頼して公園遊具の保守点検を実施しました。また、職員においても公園遊具の点検パトロールを実施しました。</p> <p>令和2年度町内公園遊具保守点検結果          ・A判定：8遊具 ・B判定：79遊具 ・C判定：98遊具 ・D判定：17遊具          遊具の保守点検結果から優先順位を判断し、緊急性の高いものを選定して、令和2年度においてD判定の遊具6箇所の修繕及び入替え（滝川台地区、ゆりが丘地区、桜ヶ丘地区2箇所、北上牧地区2箇所）を実施しました。          残りのD判定の遊具に関しては令和2年度以降において、修繕していく予定です。          令和元年度において作成した公園における公共施設マネジメント台帳に基づいて、計画的に修繕を行っています。</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>少子高齢化の進展に伴い、従来公園が担ってきた役割にも変化が生じ、幅広い年代の住民が集う地域コミュニティの形成を促すことのできる公園の整備に対する要望が高まり、今後、維持管理、更新及び充実に対するニーズが増加すると考えられます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>公園利用者の安全性と施設機能の確保を実現するため、効率的な施設の維持管理を図り、修繕や更新等を計画的に行うアセットマネジメントの考え方を踏まえた取組が必要となってきます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期： ）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>公園内遊具の安全性を確保するため、町内都市公園において公園遊具の保守点検を実施していきます。              公園施設において今後進展する老朽化に対する遊具の安全対策の強化とライフサイクルコストの縮減を図るため、定期的な遊具の保守点検と点検結果を考慮した効率的な維持管理を行っていきます。              D判定の遊具に対しては、修繕の優先順位等も勘案しながら、修繕を行っていきます。</p>					
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	<p>公園遊具保守点検業務にて、D判定かつ子どもたちに危害を及ぼす可能性のある遊具に関しては、使用禁止等の対応していきます。              遊具等の修繕については、危険性の高い遊具等から実施していきます。</p>						
	指標 （予定）	-					
		-					
		-					
		-					



3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 令和2年度では、自然環境保全地区内行為届出が13件あり、奈良県自然環境保全条例に規定されている「保全地区」内行為の取扱基準に基づき、審査した結果問題ないことが確認できたため、副申しました。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある		
	評価の根拠及び理由 近年、人口減少が進み開発圧力が低下する中で、上牧町の地域の課題に応じた土地利用の秩序又は計画的誘導が求められています。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない		
	評価の根拠及び理由 「奈良県都市計画区域マスタープラン」の改定や上牧町都市計画道路の見直しを受けて、適正に対応するために最上位計画である上牧町第5次総合計画に沿った形で、都市計画マスタープランの一部見直しを行う必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 都市計画マスタープランの見直しに向けて参考になるような他市町村の都市計画マスタープランの調査を行い、内容について研究していきたいと考えています。			
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	関係法令及び諸計画との整合を図りながら、周辺の自然環境・景観保全、ゆとりある市街地環境の維持・形成、農林業との調和、地域の活性化等を考慮し、指導及びパトロールを実施していきます。				
	指標 （予定）	—			
		—			
		—			
		—			
		—			